

令和5年3月号

春日部セントノア病院

〒344-0001  
埼玉県春日部市不動院野1112-1  
TEL048-760-1200  
FAX048-760-1201  
https://www.saintnoah-kasukabe.jp

# セントノア Smile



### ～目次～

- 病院短信 齊藤 宏美
- 日常の一コマ 松田 純子
- いきいき看護・介護 東 綾子
- 検査科だより 木村 収実
- 節分&誕生会 デイルームにて
- スタッフ紹介 高屋敷 剛克

## 3月の予定

### ◇誕生日会

1病棟	3月 3日(金)
2病棟	3月 6日(月)
3病棟	3月 3日(金)
各病棟デイルーム 14:00～	



## 今年の鬼は、何か変?



2月初めに襲来する狼藉三味の赤鬼・青鬼、それに対する完全武装の迎撃患者軍団。と、ここまでは恒例の風物詩だが、今年はちょっと様子がおかしい。何やら和んだ雰囲気醸し出すカラフルな鬼が院内を跋扈、果たして正体は…



この虹色の鬼は毎年やって来る乱暴な鬼とは違い、どんな人にも一切の危害を加えずゆっくりと院内を見て回り、その慈愛をたたえた眼差しで患者さんやスタッフを優しく諭して歩いたという。ある人は言う、「まるで菩薩様のようなであった」と。



虹鬼様の出現で平穏を取り戻した院内では、その後穏やかな雰囲気の中、笑顔の絶えない誕生会が催されたという…

## スタッフ紹介

栄養科  
たかやしき たけかつ  
高屋敷 剛克

星座：うお座  
血液型：B型  
趣味：日帰り温泉に  
行く事



入社して4ヶ月ほど過ぎました。まだまだ先輩方に助けて頂きアドバイスをもらいながら仕事に励んでいます。休日は、ぬるめの湯船の中で何も考えずにボーッと過ごしリセットしています。それから、お風呂上りや仕事終わりの「お疲れビール」も欠かせません。人見知りのため、早く職場の皆さんと馴染めるように努力しますので、これからも宜しくお願いします。



## 病院短信

### 「来年度の目標」

1病棟看護師長 齊藤 宏美

十年に一度の大寒波に襲われた今年の冬も終わりが近づいてきました。日ごとに木の芽も膨らんできて、ようやく春の息吹を感じることができそうです。まだ寒い日も続きますが、お身体を大切に過ごしてください。さて、当院では来年度の目標に「ユマニチュードの学びと実践」を掲げました（ユマニチュードとは、知覚・感情・言語による包括的コミュニケーションに基づいたケアの技法です）。ユマニチュードは「人間とは何か」「ケアする人とは何か」という哲学に基づいて、柔軟にケアの体制を変えていくことが求められます。

認知機能が低下している患者さんは、ケアを行うことが困難な時があります。それは、本人が自分を守ろうとして戦っている「防御」であるとも言われています。その防御本能を理解した上でケアを行うと、周辺症状（徘徊・暴言・介護抵抗など）が和らぎ、ケアする側の負担も減らすことができます。また、短期記憶の低下が著しい患者さんは、同じことを繰り返し聞いて来ることがあります。本人がすぐに忘れてしまうので「あの話はしたかしら？」と常に不安な気持ちのため、周囲の人に確認せずにはいられないのです。「周囲に迷惑かけたくない」という気持ちの現れですね。

さらに、暴言や暴力も介護者にとって大きな悩みとなります。アルツハイマー型認知症が高度に進行した頃に起こりやすいと言われていますが、この頃の患者さんは、衣類の着脱が苦手になり、言葉をうまく話せなくなります。このような状態の中で入浴や排泄の介助をしようとすると、患者さんは「突然服を脱がされる」と感じてしまいます。そのため、戸惑い、傷つき、そして暴言や暴力に繋がるのです。患者さんは、状況を理解するために相手の表情や口調に敏感になるので、接する時は笑顔や優しい口調で細やかな気配りが必要です。

認知症の患者さんが今どのような状況にあるのかをしっかりと理解して、ユマニチュードを実践することで、患者さんの安心に繋がります。穏やかな入院生活を送ることができるでしょう。学びと実践に終わりを迎えることはありませんが、看護・介護スタッフが一丸となって、来年度の目標であるユマニチュードに力を注ぎたいと思っております。

## 日常の一コマ

今月は3病棟に入院されている、たま子さん（94歳）をご紹介します。たまさんは二人姉妹の長女として越谷市にて生まれ育ち、家業の農業を手伝いながら、農閑期には染工場で仕事をされていました。結婚後は二人のお子さんに恵まれ、昭和40年頃よりパート経営をしながら暮らしていたそうです。

平成31年頃から、たまさんに認知症の症状が少しずつ表れ始めました。主な症状としては「メガネやコップの置き場所を忘れる」「同じことを何度も聞いてくる」「近所の生け花教室からの帰り道がわからなくなる」などでしたが、令和2年にご主人が亡くなられてからは、たまさんの認知症の症状はさらに進行しました。そして、デイサービスへの通所や入浴を拒否することが多くなり自宅での介護が難しくなってきたため、令和4年5月、当院に入院することとなりました。

入院当初は慣れない環境ということもあり、帰宅願望が強く出口を探して歩き回り夜間もベッドから降りようとするため、ひとときも目が離せない状況が続きました。事故がないようにと私たちスタッフがそばに付いているのですが、それをとても嫌がります。そして、私たちから急に離れようとして足先がふらつき何度も転びそうになるのです。そんな時は、スタッフが隣に座っているようなお話をします。たまさんと同じ蒲生に住んでいる私は、地元民しかわからない話でよく盛り上がりました。（日本エレベーターやキンカ堂の名前を出す懐かしいようで嬉しそうでした）

最近では、少しずつ落ち着いて過ごす時間が増えてきました。先日、他の患者さんに気を取られていた時にたまさんが転びそうになっていたのを慌ててそばに駆け寄ると「そんなに慌てて走ったら転ぶだろう」と、逆に私たちの心配をして下さいます。夜中にトイレで目が覚めるたまさんのお手伝いをしていると、「こんな

夜中に来てくれてありがとな。ここで少し横になれ」と自分のベッドで休むように気遣ってくれる優しいたまさん。思わず「ありがと」って抱きついてしまうのですが、「あんた、何を食べたらこんなに太れるんだ？」と本当のことをズバリ言われてしまい…もう笑い飛ばすしかありません。

先月、お誕生日を迎え、ますますお元気でいらっしゃいます。最近ではたまさんのほうから手をつないでくれるのがとても嬉しいです。たまさん、また一緒にお散歩しながら、蒲生の話をしましょうね！

3病棟 介護福祉士 松田 純子



私が介護の仕事をはじめから25年以上になりますが、当院の研修会で「ユマニチュード」という介護の技法があることを初めて知りました。「ユマニチュード」とはフランス語の造語で「人間らしくある」ということを意味しているそうです。

「見る」「話す」「触る」「立つ」ことの援助を通して「私たちはあなたを大切に思っている」ということを相手にわかるように伝え、ケアを受ける人に、人間としての尊厳を取り戻してもらおうための技術です。まだまだその技法について学んでいる途中なのですが、ユマニチュードを実践することにより認知症の方の攻撃的な行動や発言が減り、表情が穏やかになっていくとのこと。時間もかかり、私たち介護者にも気持ちに余裕がないとできない技法ですが、これから日々の介護に取り入れ、実践していきたいと思えます。そして、患者さんが心穏やかに過ごせるよう援助していきたいと思えます。

## いきいき看護・介護

2病棟 介護福祉士

東 綾子



## 検査科 だより

臨床検査技師 木村 収実

コロナ関連の記事を書くのも4回目となりました。春からコロナウイルスの感染症法の分類が5類へと変わるようですが、どう変わるかは厚生労働省からの発表を参考にさせていただき、今回は、薬局で市販されているインフルエンザ+コロナウイルス抗原同時検査キットについてお話します。同時検査キットは、一度の採取で新型コロナとインフルエンザ両方の感染を調べることができることが利点ですが、以下の点に注意してください。

1. 「研究用」と表示されているもの、「医薬品」と表示されていないものは購入しない
2. 検査するタイミングは、発熱から12時間以上経過してから  
「のどが痛い、熱も出てきた」となるとすぐに検査をしたくなってしまうのですが、ワクチン接種の影響で発熱直後からすぐにウイルス量が多くなるわけではなく、陽性になりにくい場合もあります。特にインフルエンザは発熱から陽性になるまでに時間がかかるので、自宅でキットを使う場合は、

発熱後おおむね12時間以上たつてからの検査をお勧めします。

3. 綿棒はなるべく鼻の奥に入れる  
鼻先で検査する場合も、説明書に書かれている範囲内でなるべく奥の方まで綿棒を入れて、定められた回数しっかりと綿棒を回転させる。
4. 検査結果の判定  
どの部分に線が出るかによって判定をします。判定例は説明書を参考にしてください。反応時間が終わったら、すぐに写真をとって記録（氏名、検査日時がわかればベスト）しておきましょう。

特に2.の検査を行うタイミングは重要です。発熱後9時間後に同時キットでコロナ陰性、インフル陰性を確認しましたが、熱が下がらなかったため再検をした結果、インフル陽性となった例を実際に経験しました。検査の結果が陰性でも、症状が良くならない場合は再受診、再検査をお勧めします。発熱外来に受診したくても電話が繋がらない、予約が取れないようですが、5類に分類されることで受診状況が改善されることを期待したいですね。